

単元名 Unit 6 Beyond Borders

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 仮定法 (I wish I could [had] ….) , 仮定法 (If+主語+were …, ….) , 仮定法 (If+主語+動詞の過去形, ….) と主語を説明する関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。そしてその理解を基に, 相手の伝えたいことを理解したり, 自分の伝えたいことを表現したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 国をこえて助け合いたいという気持ちや助け合うことの大切さ伝えることができる。また, 教科書本文の概要を捉えたり, 簡単な語句や文を用いて話したりすることができる。
- (3) 仮定法 (I wish I could [had] ….) , 仮定法 (If+主語+were …, ….) , 仮定法 (If+主語+動詞の過去形, ….) と主語を説明する関係代名詞を用いて, 自分の考えを書いたり, 話したり, 伝えたりしようとする。また, 国際状況について書かれた文章の概要を捉えたり, 簡単な語句や文を用いて伝えたりしようとする。

標準的な展開例

12250205_001

【準備等】 デジタル教科書, 電子黒板, タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1. Scene1 仮定法 (I wish I could [had] ….) について学習する。</p> <p>★現実とは異なる「こうだったらいいな」を伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Unit6の表紙の絵について質疑応答をする。 ○Previewを聞き, 分かったことをペアで伝え合う。 ○コラムを読む。 ○仮定法 (I wish I could [had] ….) の形・意味・用法を知る。 ○基本表現の学習をする。 ○Practiceに取り組み。 ○練習問題に取り組み。 ○仮定法 (I wish I could [had] ….) を使い文を書く。 ○発表する。 ○本文の学習をする。 ○オーラルイントロダクションを行う。 ○新出語句を確認する。 ○音読練習をする。 <p>2. Scene2 仮定法 (If+主語+were …, ….) について学習する。</p> <p>★「もし○○だったら, ～する」を伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仮定法 (If+主語+were …, ….) の形・意味・用法を知る。 ○基本表現の学習をする。 ○Practiceに取り組み。 ○練習問題に取り組み。 ○仮定法 (If+主語+were …, ….) を使って文を書く。 ○発表する。 ○本文の学習をする。 ○オーラルイントロダクションを行う。 ○新出語句を確認する。 ○音読練習をする。 <p>3. Mini Activity Scene1とScene2で学習した文法を使った活動に取り組み。</p> <p>★仮定法を使って, 現実とは異なる自分の思いを伝え合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後学習する内容について関心をもたせる。 ・ペアで伝え合うことで話の内容や使われている文法事項に気付かせる。 ・世界中の取組について知る。 ・アニメのキャラクターと道具を示しながら, “I wish I could fly.” のような文を繰り返し聞かせる。 ・wishの後の語は過去形になることに気を付けさせる。 ・基本表現の定着を図る。 ・ペアで確認し合うことで, 生徒自らの気付きを大切にする。 ・具体例を紹介し, 書き方を確認する。 ・ペアで発表させることで, 相手の言ったことを理解させる。 【評】 仮定法 (I wish I could [had] ….) を用いて, 互いに現実とは異なる願望を伝え合う活動を通して「知識・技能」を評価する。 ・視覚教材を用いて, 話の内容を理解しやすくさせる。 ・電子黒板やタブレット等を用いて, テンポよく行う。 ・何度も音読することで, 文の構造や内容を理解させる。 ・大金の画像としたいことを表す画像を示し, “If I were rich, I would go to many countries.” のような文を何度も聞かせる。 ・主語がIでもwereを使うことを確認する。 ・基本表現の定着を図る。 ・ペアで確認し合うことで, 生徒自らの気付きを大切にする。 ・具体例を紹介し, 書き方を確認する。 ・ペアで発表させることで, 相手の言ったことを理解させる。 【評】 仮定法 (If+主語+were …, ….) を用いて, 互いに現実とは異なる架空の話の伝え合う活動を通して, 「知識・技能」を評価する。 ・視覚教材を用いて, 話の内容を理解しやすくさせる。 ・電子黒板やタブレット等を用いて, テンポよく行う。 ・何度も音読することで, 文の構造や内容を理解させる。

う。
○Mini Activityに取り組む。
○Listenに取り組む。

○Speak & Writeに取り組む。
○さまざまな場面で自分がしたいことを書く。
○ペアで伝え合う。

○振り返り活動を行う。

4 Read and Think1(1) 仮定法(If+主語+動詞の過去形, ….)について学習する。

★「もし〇〇があったら、…する」を伝え合ってみよう。
○仮定法(If+主語+動詞の過去形, ….)の形・意味・用法を知る。

○基本表現の学習をする。

○Practiceに取り組む。
○問題に取り組む。

○タイムマシンがあったらしてみたいことを書く。

○ペアで発表する。

5 Read and Think1(2) 日本の国際貢献についてのスピーチを読み、その内容を読み取る。

★日本がしていることや世界の国々の関係を読み取ろう。
○本文の学習をする。
○オーラルイントロダクションを行う。

○新出語句を確認する。

○音読練習をする。

○Roundに取り組む。

6 Read and Think2(1) 主語を説明する関係代名詞について学習する。

★詳しい情報を加えてものや人について説明をしよう。
○主語を説明する関係代名詞の形・意味・用法を知る。

○基本表現の学習をする。
○Practiceに取り組む。
○問題に取り組む。

○おすすめの店を紹介する文を書く。

○ペアで発表する。

・Scene1とScene2で学習した内容を事前に復習した後に活動をさせる。
・聞き取りのポイントを確認した後に取り組ませる。
・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。
・教師が例を紹介することで、書き方を確認する。
・ペアで発表させることで、相手の言ったことを理解させる。
【評】仮定法を用いて、自分の願望を相手に伝える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
・ワークシートへ記入させ、取組の振り返りをさせる。
【評】振り返り活動への取組を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・アニメのキャラクターと道具を示しながら、“If I had どこでもドア, I would go to America.”のような文を繰り返し聞かせる。
・If節内では、過去形が使われることを確認する。

・基本表現の定着を図る。
・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。
・教師が例を示すことで、考え方や書き方を確認する。
・ペアで発表させることで、相手の言ったことを理解させる。

【評】仮定法(If+主語+動詞の過去形, ….)を用いて、自分の願望について伝え合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。
・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。
・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。
・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。
・問題の答えや書いた英文をペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】本文や各Roundでの活動を通じて、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】本文や各Roundでの活動を通じて、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・教師が画像を見せながらよく見るテレビ番組を紹介し、“The program that I often watch is 水曜日のダウンタウン.”のような文を繰り返し聞かせる。
・時制に気を付けさせる。

・基本表現の定着を図る。
・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。
・教師が例を示すことで、考え方や書き方を確認する。
・ペアで発表させることで、相手の言ったことを理解させる。

【評】主語を説明する関係代名詞を用いて、おすすめの店について伝え合う活動を通して、

- 7 Read and Think2(2) 日本と世界との関わりについてのスピーチを読み、その内容を読み取る。
★日本と世界との関わりを読み取り、世界とよりよい関係を築くために何ができるか考えよう。
○本文の学習をする。
○オーラルイントロダクションを行う。
- 新出語句を確認する。
- 音読練習をする。
- Round / Point of Viewに取り組む。
- columnを読む。
- 8 Unit Activity 世界を100人の村として考え、世界の現状について考える。そして単元テストに取り組む。
★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。
○STEP1に取り組む。
- STEP2に取り組む。
- STEP3に取り組む。
○STEP2に自分の感想や考えを加えて書く。
○ペアで発表する。
- 世界の現状をふまえて、自分たちがすべきことやできることを書く。
○グループで発表する。
- 全体で発表する。
- 単元テストに取り組む。
○Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。

「知識・技能」を評価する。

- ・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。
 - ・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。
 - ・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。
 - ・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。
 - ・ペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。
- 【評】本文や各Roundでの活動を通じて、「思考・判断・表現」を評価する。
【評】本文や各Roundでの活動を通じて、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
・よりよい世界を築くために個人としてできることを知る。

- ・聞き取りのポイントを確認した後に取り組ませる。
- ・例を確認することで、文を書くポイントを理解させる。
- ・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。

- ・発表や発表の後に英語でコメントをさせることで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。
 - ・教師が例を示すことで、考えるポイントや書き方を確認させる。
 - ・発表や発表の後に英語でコメントをさせることで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。
- 【評】書く活動及び発表の活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
【評】書く活動及び発表の活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【評】単元テストを通して、仮定法 (I wish I could [had] ….) , 仮定法 (If+主語+were …, ….) , 仮定法 (If+主語+動詞の過去形, ….) と主語を説明する関係代名詞の用法についての「知識・技能」を評価する

【評】単元テストを通して、仮定法 (I wish I could [had] ….) , 仮定法 (If+主語+were …, ….) , 仮定法 (If+主語+動詞の過去形, ….) と主語を説明する関係代名詞を活用させ、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。